

第4回安曇野市水道事業運営審議会 会議概要

- | | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第4回安曇野市水道事業運営審議会 |
| 2 | 日 時 | 平成20年1月9日 午後1時00分から午後2時43分まで |
| 3 | 会 場 | 豊科総合支所 上下水道棟2階会議室 |
| 4 | 出席者 | 平林委員、加々美委員、塚田委員、磯野委員、松村委員、
窪田委員、山崎委員 |
| 5 | 出席者 | 市側 太田部長、大澤課長、小松課長、中野副参事、
古旗係長、斉藤係長、小穴係長、水谷係長 事務局古畑 |
| 6 | 公開・非公開の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴人 | 0人 記者 3人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成20年1月18日 |

協 議 事 項 等

1 会議概要

- (1) 開 会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議 事
豊科事業料金改定（案）について
- (4) その他
- (5) 閉 会

議事 豊科事業料金改定（案）について

事務局 豊科地区の基本料金は5事業で一番低い。今後料金統一の際は必然的に基本料金を値上げする状況のため、今回は基本料金がある程度値上げせざるを得ない状況だ。また40mm50mm以上の大口径は市の平均より高い状況のため、今回改定する際、大口径を値上げする事は難しい。更にエプソンの使用水量が皆無になると想定して料金改定をしたい。エプソンでの水道使用が皆無になった場合は年間4千万から5千万の赤字が発生する見込みであり、これを最低限クリアできる料金改定が必要である。

今回、料金改定案を2案用意した。改定案①の平均改定率109.7%、改定案②の平均改定率は112.0%になり、13mmの一般家庭を例えると改定案①は15.1%増、改定案②は19.0%増になる。一般家庭用の改定率が高いが、現行料金との比較、料金改定後における収支シミュレーションを参考に議論頂きたい。

委 員 昨年の審議会で、事務局から穂高は20%の値上げで提案されたが、審議の結果15%の値上げに留まった。また、15%値上げで穂高では苦情の声は非常に少なかったから豊科でも一般家庭15%程の改定案①の方が受入れやすいと思う。

委 員 今回改定案①で値上げして、また料金統合の前に値上げする事態になると混乱を招く事になるから改定案②の一般家庭分19%の方が良い。改定案②でも穂高と明科より遥かに料金は安いので問題にならないと考える。

事務局 20mmから40mmの改定案は、穂高の料金に合わせた。穂高は昨年考えられてこの水準になっているため、そのような地区に合せた。豊科の場合は改定案①の基本料金1,450円にし

た場合、掘金の1,500円に比べ50円安いですが、将来料金が統一された際、基本料金は最低でも1,500円を超えるため、1,450円の段階を踏むより掘金の基本料金に合わせたほうが5地区の料金は部分的であるが近寄ってくる事になる。については、先の料金統一の件も考慮し基本料1,500円の改定案②にして頂ければ有難い。

委員 基本水量10 m³は簡単に超過するから超過料金が高いと思う。特に子育て中の家庭は大変だと思う。

事務局 特にそのような家庭は料金が値上げされた実感は大きいと思う。

全体で見ると2ヶ月で30立方から50 m³が平均使用水量であり、家族構成にもよるが1期2ヶ月で平均千円程度の値上げに留まると考えている。

委員 合併後住民は他地区との比較がしやすくなった。値上げしてもまだ穂高と明科より安いから納得はして貰いやすいと考える。改定案②でも問題ない。

委員 地域性があるの料金設定であるが豊科は平坦地が多いため、ある程度安く設定できる面もあった、今までエプソンが貢献していた面もあるから尚更である。また、値上げするのであれば純利益を多めに設定した方が将来統合する際スムーズに出来る。従って私は改定案②が妥当と考えている。

また、今までエプソンの恩恵で安く水道を使用できていた事を知らない住民が非常に多いと思われる為、その面もしっかりと説明してほしい。

その他改定案②に賛同する意見多数あり

会長 それでは豊科事業料金改定について改定案②でよいか。

委員 はい。(出席委員全員賛成)

会長 その他について質問は。

委員 豊科は3年におきに料金を見直して来たのか。

事務局 平成9年に消費税率が上がると同時に23.1%値上げ、その後平成14年度に9.3%値上げ、17年度に8%値上した。この頃には審議会で3年おきに料金を見直すことが方針づけられていた。更に17年度値上げの際、平成20年度も値上げする方向で決定されていたが、今回エプソンの問題が発生しなかったら現行の料金体系で運営していく事になっていたとも考えられる。

委員 今現在、市水道事業全体で抱えている課題はどのようなものがあるか。

事務局 三郷の黒沢水源問題と、市内に何件かある簡易水道等の統合関連と、施設の老朽化も大きな課題だ。また、耐震化も課題であり、現在市内で使用している配管は基本的に耐震化されていないものが布設されており、今後老朽化の問題と併せて解決したい。

また、地下水の水質も全く問題の無い範囲ではあるが一部水源のP h値が高くなってきている。

会 長 他に質問は。(無し)

事務局 豊科の料金改定については改定案②で進めさせて頂く。併せて、堀金についても今までの内容に従い進めさせて頂く。今後の日程は、もう一度審議会を行い答申書の確認作業をして頂く。また、3月議会で条例改正案を上程するが、その前に市長へ答申を2月早々に行われたい。

料金改定の実施時期は、豊科は奇数月が徴収月になっているので周知期間を設けても9月でも十分間に合うが如何か。

周知期間は長いほうが好ましいという理由で豊科と堀金の料金改定は11月徴収分から行う事で委員一同が賛同。

会 長 次回の審議会の開催について。

平成20年1月23日 13:30から開催と決定。